

弔 辞

高木バルブ株式会社 高木会長の御霊前に謹んでお別れの言葉を申し上げます。

創業昭和25年8月、70年の歴史の永い会社にて終始一貫社業の発展に尽力されました。

企業理念で有ります、信用第一主義、より迅速に安全で安心な資材の提供に取り組んでこられました。誠に立派だったと思います。

数年前に体調を壊され一年半前に次女の優夏さんに社長を譲られ会長として責務を全うされました。

高木バルブは優夏社長を筆頭に永田専務を始め幹部社員、社員の皆様が一致団結し会長が永く作り上げて来た会社を発展させていくものと信じています。私共の会社と高木バルブ様とのお付き合いも早いもので40年になります。

バブルが崩壊した平成10年から平成21年の間に幾多のゼネコンが倒産しました。平成14年に福岡地区のトップゼネコンが倒産した時に当社も2億円近い不良債権を被りました。

倒産したゼネコンの手形を1億2千万円程

高木バルブさんに裏書手形として支払っていただきました。私も何処から手を付けていいのか全く分からず、ただオロオロするばかりでした。

高木社長も心配でご苦勞を掛けた事と思います。が、私共から連絡するまで、何の督促もせず

ただ私共を信じていると励ましという言葉をかけてくれました。

この時の高木会長には、ただただ感謝、感謝です。そういった事が有った時期に高木会長、永昌洋行西部機材、朝日プラントの社長方と私5人で

高永会という会を作り、年に2〜3回程の情報交換会、2年に一度の旅行を楽しんでいました。高木社長に会長になって頂き高永会を盛り上げて頂きました。

平成28年新潟県の越後湯沢温泉に行った時はバルコニーにありました壺の浴槽に入り、新潟の名酒の飲み比べをしたのは私の人生で最高の思い出となっています。

高木会長と最後にお会いしたのは2月の始め頃だと思っています。その時に会長よりゴルフは無理だけど飲む方は大丈夫ですと言っておられました。が、その約束もはたせないままです。

また、御家族の皆様も特に奥様はあまりにも早い容態の変化にお辛い気持ちだと察します。

高木会長 長い間本当にお疲れ様でした。

ここに深く哀悼の意を表し、あわせてご生前の業績に敬意を表して弔辞といたします。

令和二年五月二十七日

株式会社 曙設備工業所

代表取締役 野田 弘之